

インタラクティブ大学院教育・国内短期留学報告書

大阪大学理学研究科 高分子科学専攻 佐藤研究室 M1 真田 雄介

留学先：長岡技術科学大学 物質・材料系 小林研究室

期間：2007年3月12日～23日

今回、インタラクティブ大学院教育のプログラムを利用して、長岡技術科学大学の小林研究室に二週間の国内短期留学をさせていただきました。私の研究では分子インプリントという技術を使っています。この技術の日本における先駆者である小林高臣先生の研究室で武者修行をさせていただきました。

この留学での目的は、私の合成した分子インプリント素材の評価方法を学ばせていただくことでした。表面積測定、赤外吸収、走査型電子顕微鏡、高速液体クロマトグラフィーを用いた評価方法について、手取り足取り教えていただきました。また、長岡技術科学大学では21世紀COEプログラムのテーマとしてハイブリッド素材の創生を掲げており、小林研究室でもその一環として分子インプリント技術を膜素材と組み合わせる利用を研究されています。私の持ち込んだサンプルも膜素材に加工させていただき、まさにインタラクティブな経験となりました。小林先生や研究室の分子インプリントの研究を行っている方々とのディスカッションも非常に刺激的で、さまざまなアドバイスをいただき、非常に有意義な二週間を過ごさせていただきました。

最後になりましたが、快く迎えていただき、多くのことを学ばせていただいた小林先生をはじめ小林研究室の皆様にご心よりお礼申し上げます。また、私にこのような素晴らしい機会を与えてくださったインタラクティブ大学院教育プログラム、並びにご支援いただいた皆様に心より感謝いたします。

